

## 科目と講義のねらい

科目	ねらい	内容	講師
健康スポーツ学総論	人間とスポーツの関わり、スポーツの必要性について考える	人間の進化と運動・スポーツ ・健康・運動・体力の関係 ・運動やスポーツの必要性	稲垣 敦
スポーツ救護・小処置	スポーツ救護の現状と課題について学び、スポーツ現場での実践的な救護に必要な知識と小処置を修得する	・スポーツ現場での救護の現状 ・救護の基礎知識と実践処置 ・救護に必要な物品と使用方法 ・専門病院搬送の目安	森 照明
スポーツ歯科救急	スポーツ現場に起こる口腔外傷について、具体的対処法を理解する。	・口腔外傷の特徴と種類 ・基礎知識と対処法	保科 早苗
スポーツ頭部外傷	スポーツ頭部外傷の概要を理解し、診察方法、処置法、救護と競技続行の可否などについて学ぶ	・頭部外傷の特徴 ・頭部外傷の10カ条の提言 ・意識障害の診と問題点 ・脳震盪の診察法と処置 ・病院搬送の判断法 ・選手、家族への説明内容	森 照明
スポーツ救命救急講習	スポーツ現場での心停止それぞれに近い状態に陥った場合の迅速な心肺蘇生・脳への不可逆的変化を防止する。	・意識の有無の確認 ・救護者としての正確な判断とAEDの正確な取扱い方法	秋吉 信子 大賀 淳子 横井 直美 小泉 尚子 副田 明美
スポーツ熱中症	スポーツ活動中に発生する熱中症に対する知識と対処法、最も大切な予防対策について学び、更に水分補給のポイントも紹介する。	・熱中症の発生状況とメカニズム ・体液の成分とその重要性 ・発熱・発汗の機序 ・脱水の症状 ・発生状況について ・熱中症の分類 ・スポーツ現場における救急対応の実際 ・熱中症予防対策（日本体育協会ガイドラインより） ・水分補給の正しい知識	島田 達生 小原 一慶
小児救急概論 子どもも外傷の特徴：診方と処置	小児の発達段階ごとの解剖学的、生理学的特徴を理解する。 小児の救急処置を実践できるようになる。	・小児の発達段階ごとの解剖学的、生理学的特徴を説明する。 ・熱中症の対処法。 ・小児BLSデモンストレーション。	鈴木 正義
アンチドーピング	ドーピング防止に関する基本的な知識を習得する。 競技会の救護所における医薬品使用の注意点を理解する。	・ドーピングの歴史 ・ドーピング防止の意義 ・日本のドーピング防止事情 ・使用禁止薬 ・治療目的の使用における除外措置 ・使用可能な医薬品	山田 雅也 末松 文博
スポーツと内科疾患	スポーツに関する内科的な病気や障害・事故についての基本的・臨床的知識を学ぶ。 救護に必要な循環器および呼吸器の生理学的知識の確認をする。	・突然死 ・虚血性心疾患 （心筋梗塞・狭心症） ・不整脈 ・脱水・熱中症 ・運動誘発発喘息 ・貧血 ・溺水	松本 悠輝
スポーツと運動器疾患（講義）	スポーツによる外傷と障害の概要を理解し、現場での判断、処置法などを学ぶ。	・スポーツ外傷（ケガ） ・スポーツ障害（故障） ・救急処置法 ・その他	大場 俊二
スポーツと運動器疾患 （実技・予防）	スポーツ活動時における四肢関節の代表的な外傷の救急時対応を選手に実践できるようになる。 テーピングの習得については反復練習を必要とするために講習会ではデモンストレーションのみとする。	・受講者の過去の経験を踏まえ3グループに分けて実技を実施する。 （内容はRICE処置およびストレッチャ指導）	立 隆一 指宿 健一郎 高橋 健一郎